

## 《学部長挨拶》

横浜国立大学経済学部新入生保護者の皆様へ

横浜国立大学経済学部は1949年の横浜国立大学の創立とともに設立されました。また、経済学部の前身となる横浜高等商業学校（横浜高商）が文部省直轄学校として1923年に設置されてから、昨年度で100周年を迎えました。経済学部は横浜高商以来の伝統を受け継いで、理論と実践の両面からバランスよく教育することを重視し、国際貿易港横浜を背景とした国際色豊かな教育を進めています。

具体的には、グローバル化する経済社会の問題を論理的、数理的、統計的に分析・探究する力を持つ人材の育成を目指しています。新入生は、導入教育として数学、外国語、情報処理、統計、コミュニケーションの基礎を学び、経済学の基礎科目を受講します。2年次以降は現代経済学の基幹科目と専門応用科目を幅広く受講します。その上で、3年次からは「グローバル経済」、「現代日本経済」、「金融貿易分析」、「経済数量分析」、「法と経済社会」の専門分野から主分野と副分野を選択し、経済学の高度な理論と応用について学習します。同時に、演習形式のゼミナールでは、より具体的な研究テーマについて学生と教員が活発に議論しながら学びを深めます。4年次はゼミナールでの研究活動をもとに卒業論文の執筆に取り組みます。

2021年度からは、経済学部の新たな教育プログラムとして、経済学の専門性と情報処理・統計分析能力の融合により新たな価値創造ができる人材を育成するデータサイエンス教育プログラム（DSEP）、法学・政治学をベースにエビデンスに基づく課題解決を担う人材を育成する教育プログラム（LBEEP）を開始しました。さらに、2023年度からは、学生の学習意欲に応じて、早期の専門学習に取り組むことができるコース（Econ-ROUTE）を開始しました。DSEP、LBEEP、Econ-ROUTEでは、5年一貫教育を選択することで修士号まで取得することもできます。経済学部教職員は、一丸となって学部教育の高度化に取り組んでまいります。

学生にとってより魅力的かつ充実した学部教育を実現するには、保護者の皆様からのご支援とご協力が不可欠です。YNU経済学部教育後援会からは、海外留学、就職活動、懸賞論文、被災学生へのご支援、さらに近年ではコロナ禍で困窮した学生へのご支援を賜るとともに、経済学部に対する貴重なご意見やご提案を頂いてまいりました。経済学部は、今後とも皆様からのご支援のもと、時代の要請に応える人材育成に全力を尽くしてまいります。保護者と教職員との協働により、経済学部生への支援活動を積極的に行うという教育後援会の趣旨にご賛同頂き、数多くの保護者の皆様が教育後援会にご参加くださいますようお願い申し上げます。

2024年4月

YNU 経済学部教育後援会  
特別理事（経済学部長）  
伊集 守直